

マーケットの動き（2024年12月9日～12月13日）

先週の米国株式市場は、前週末比で下落しました。

週初は、週半ばの11月の米国CPI（消費者物価指数）の発表を控え積極的な買いが入りにくく、中国当局が米半導体大手を独占禁止法違反の疑いで調査を始めたことからハイテク株などに売りが入りました。その後、米国CPIの発表などを受け、2025年のFRB（米国連邦準備制度理事会）による利下げ回数が減少するとの見方が広がり、米国長期金利の先高観から株式は売られました。

欧州株式市場は、ドイツ株式市場は上昇した一方、英国株式市場は下落しました。

投資環境見通し（2024年12月）

外国株式相場は、米国、欧州ともに上昇

企業業績については、実質賃金の上昇が個人消費にプラスとみられることから、概ね堅調とみています。米国株式相場は、大統領選挙後の新政権による政策運営を巡り変動率が高まる可能性はありますが、景気が底堅く推移する中、堅調な企業業績を背景に上昇するとみています。欧州株式相場は、ドイツでは景気減速が懸念されますが、ECB（欧州中央銀行）の利下げ継続によって域内景気が緩やかに回復するとみられることから、上昇するとみています。

	12月13日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	6,051.09	▲0.64%	1.10%	11.36%	28.55%
NYダウ	43,828.06	▲1.82%	▲0.30%	13.41%	18.17%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

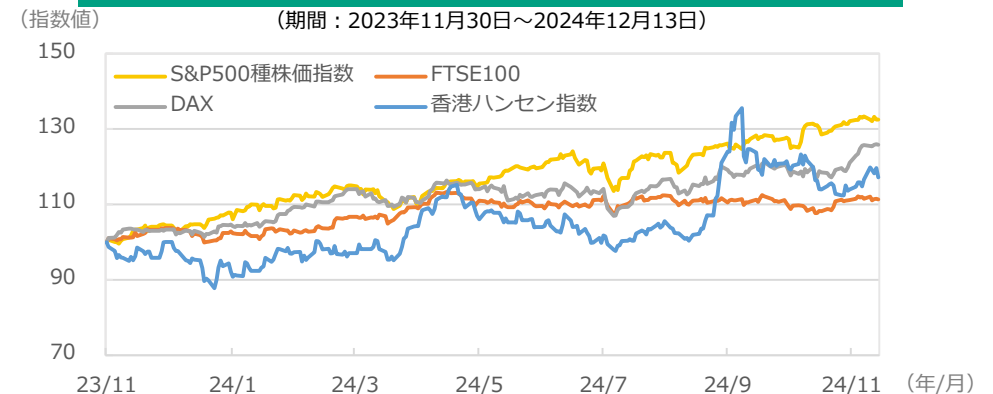
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202412_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2023年11月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成